

研究主題 よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動

I 研究の目的

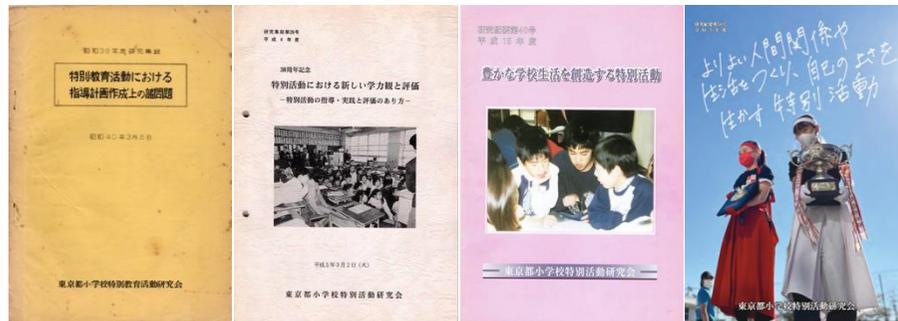
1 特別活動の指導方法の研究

本研究会は、東京都教育委員会認定の研究推進団体として、昭和37年の設立以来、特別活動の研究・発展に努めてきた。

学級活動部、児童会活動部、クラブ活動部、学校行事部の4研究部会で構成され、それぞれの研究部会ごとに研究授業を行い、より質の高い、実践的な特別活動の授業のあり方を追究し、その成果を研究発表大会や研究紀要で発信してきた。

2 設立60周年を迎えて

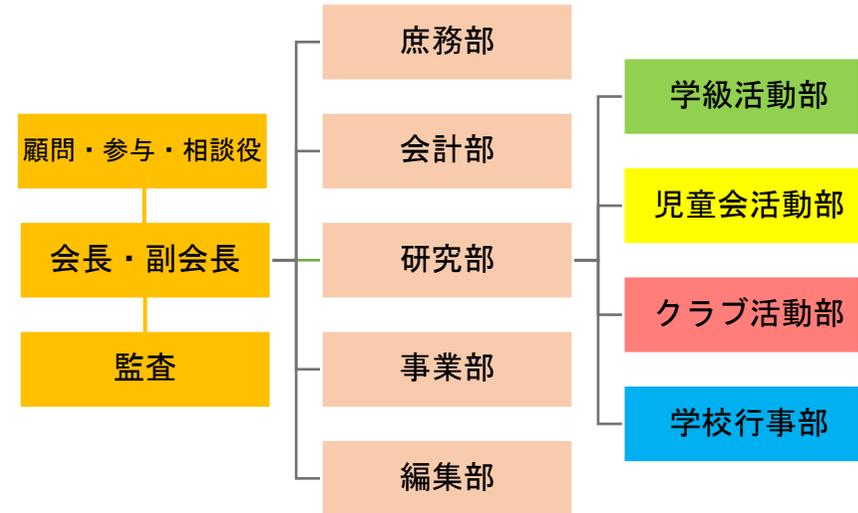
今年度は、本研究会の設立60周年である。研究紀要は昭和39年度の第1号を発行以来、毎年、その年の研究についてまとめ、発行を重ねてきた。令和3年度で第58号を数え、本研究会の長い歴史を物語っている。なお、本会ホームページ (<https://tosho-tokatsu.tokyo>) より、平成元年度以降の研究紀要を閲覧・ダウンロードできる。



第1号 昭和39年度 第30号 平成5年度 第40号 平成15年度 第58号 令和3年度

II 研究の方法

1 研究組織 部員は有志の東京都の小学校教員で構成されている。



2 研究授業による検証

本研究会の特色は、4つの研究部会（学級活動部、児童会活動部、クラブ活動部、学校行事部）が、共通の研究主題の基、仮説・主題に迫る手だてを「研究授業」を通して検証し、その成果・課題を次年度の研究につなぐ形で積み重ねてきたことにある。

新型コロナウイルス感染症の流行のため、令和2年度は「研究授業」を行うことができなかったが、令和3年度より感染症対策に努めながら、「研究授業」を実施している。

Ⅲ 研究の内容

1 研究主題

よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動

2 主題設定について

特別活動の目標は、3つの視点（「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」）を手がかりとしながら特別活動における資質・能力を育成することである。そこで、本研究会では、平成25年度から3年間は「人間関係形成」、平成28年度から3年間は「社会参画」に焦点を当てて研究を進めてきた。研究を進める中で、3つの視点が切り離せない相互関係にあることを再認識し、令和2年度より研究主題を「よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動」と修正し、3つの視点を関連させながら研究を進めている。



3 研究計画

- ①令和元年度…仮説に基づく授業実践
 - ・各活動、学校行事における「自己実現」を明確にし、共通理解を図る。
 - ・各活動、学校行事における学習過程（課題解決）を構築する。
- ②令和2年度…理論構築
 - ・1年目の研究を踏まえ3つの視点を関連付け、育成する資質・能力について共通理解を図る。
- ③令和3年度…理論・仮説の検証（1年目）
- ④令和4年度…理論・仮説の検証（2年目）
 - ・実践を裏付ける理論の検証のための授業実践
- ⑤令和5年度…汎用性・再現性のある提案



Ⅳ 成果と課題

1 成果

この2年間は、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、特別活動の取組が行われてきた。安易に中止や縮小するのではなく、取組のめあてを明確にし、工夫をすることで、めあてを達成できることが分かった。また、試行錯誤する中で、ICT機器の活用など、これからの時代の教育活動に不可欠な用具・手法を学ぶきっかけとなった。

これまでの研究の積み重ねに加え、ウィズコロナ時代の特別活動の在り方が当然の手だてとして認識されたことも成果の一つである。

2 課題

(1) 汎用性のある手だての提案

本研究会は、特別活動の指導方法を研究し、広く東京都の教員に伝え、指導の改善を促すことが使命の一つである。誰もが取り組み、成果を上げることができるよう一般化・汎用性のある手だての提案に向けて、検証を進めていく。

(2) 手だての有効性の確認

各研究部で取り組んできた手だての有効性について、より客観的な裏付けが必要である。指導する教員の見取りに加え、児童の意識調査アンケートを行い、手だての有効性を確認していく。

<連絡先>

団体名		東京都小学校特別活動研究会
代表者	所属	目黒区立下目黒小学校
	職 氏名	校長 秋山 美栄子
	連絡先	03-3491-0332
事務局 〈庶務部〉	所属	大田区立羽田小学校
	職 氏名	校長 笹間 伸也
	連絡先	03-3741-5681
ホームページ		https://tosho-tokkatsu.tokyo
メールアドレス		info@tosho-tokkatsu.tokyo